

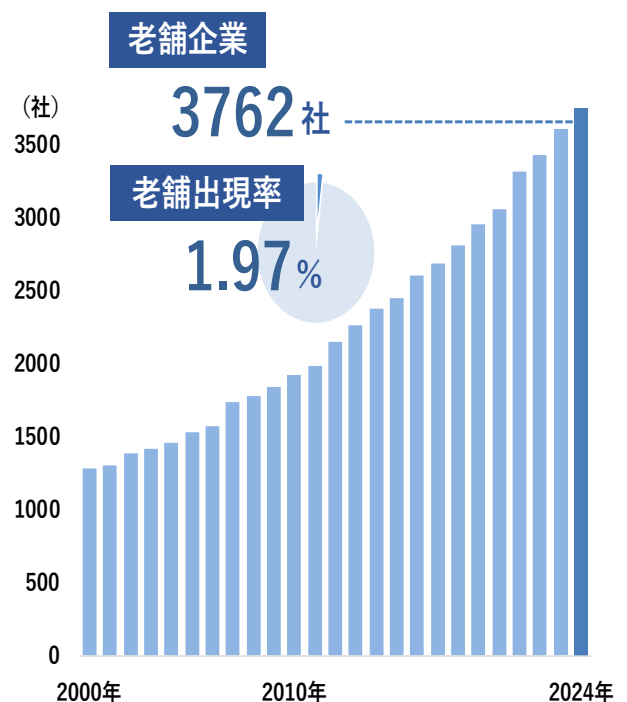
九州・沖縄地区「老舗企業」分析調査 (2024 年)

「老舗企業」、九州に 3762 社

蒸留酒・混成酒がトップで 100 社を超える～

長い業歴のなかで、変化を恐れず「進取の気性」を持つことで多くの災害や需要の変化などを乗り越えてきた老舗企業。国内の多くを占めているファミリービジネスや質素・儉約などを記した家訓に代表される商業精神など、日本ならではの老舗の姿は経営の教科書的存在として取り上げられることが多く、商売繁盛に向けての模範として扱われている。一方で、足元では老舗企業の倒産が目立っている。「老舗＝安泰」のイメージが崩れかけており、本業の事業性評価が問われるなど老舗企業の底力が試されている。

2024 年 9 月時点で、九州における業歴 100 年以上を有する老舗企業は 3762 社にのぼる。年々老舗企業の社数は増加している。また、九州における老舗企業の割合を指す「老舗出現率」は 1.97% だった。現時点では、2025 年も同水準の企業が 100 周年を迎えると見込まれる。



調査結果 (要旨)

- 2024 年 9 月時点における九州の老舗企業数は、3762 社。老舗出現率は 1.97% だった
- 都道府県別では、出現率は佐賀県が 3.71% でトップとなり、長崎県 (2.78%)、大分県 (2.62%) が続く
- 業種別では蒸留酒・混成酒が社数トップとなり、土木工事、貸事務所が続く
- 売上高別では 44.4% が「1 億円未満」で半数近くを占める

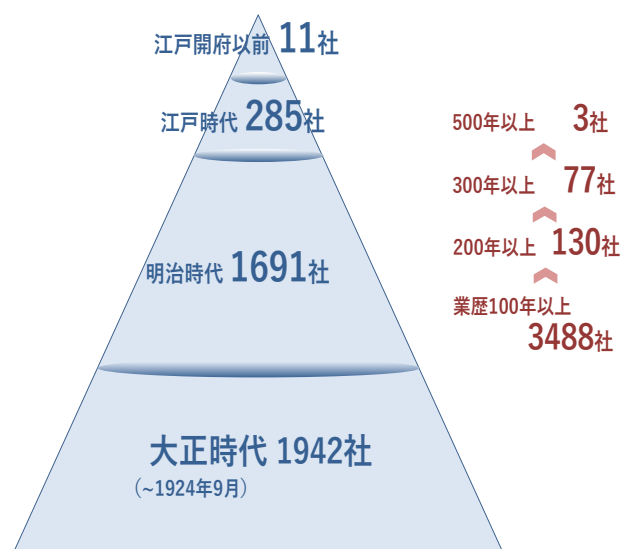
- 帝国データバンクが保有する企業概要ファイル「COSMOS2」(2024 年 9 月時点、約 147 万社収録) に加え、独自で収集し営業の実体を確認できた企業を基に、創業・設立から 100 年を超えている企業を「老舗企業」と定義し、分析を行った
- 創業時が元号・時代のみ判明している場合には、各元号・時代の最終年を創業年として集計した

1. 老舗企業は 3762 社「業歴 500 年企業」は 3 社に

九州の老舗企業数は 3762 社だった。100 年以上の企業は 3488 社、300 年以上の企業は 77 社、500 年以上の企業は 3 社と続いている。さらに、江戸時代の創業は 285 社で、江戸開府（1603 年）以前の創業は 11 社だった。

また、「500 年以上」の業歴を誇る企業は、3 社にのぼる。「平助筆」のブランド名で書道用品を販売する平助筆復古堂（福岡市中央区、1501 年創業）や、1440 年に建立された法蓮寺（佐賀県唐津市）などが 500 年以上の企業となった。

また、「朝鮮飴」を販売している園田屋（熊本市中央区、1582 年創業）や、可児（かに）醤油合資会社（大分県臼杵市、1599 年創業）は、江戸開府以前の創業である。



2. 都道府県別では佐賀県が 3.71%でトップ

全企業数に占める老舗企業の割合を指す「老舗出現率」を都道府県別でみると、佐賀県が 3.71%で最も高かった。その他、長崎県（2.78%）が全国平均（2.75%）をこえた。これらの地域は、自然災害が少なく、大陸文化の窓口として歴史ある産業が多いことが背景にあり、全国的に見ても日本海側の地域が上位にランクインしている。

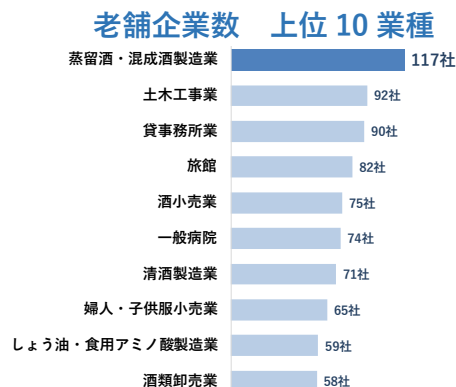
他方、鹿児島県や宮崎県などといった、九州南部地域の老舗企業率は低く、全国平均を下回る結果となった。また、沖縄県の老舗企業率は、0.17%となり全国最下位の順位となった。

都道府県	老舗企業率	全国順位
福岡県	1.81	43
佐賀県	3.71	10
長崎県	2.78	30
熊本県	2.38	36
大分県	2.62	34
宮崎県	1.58	46
鹿児島県	1.67	44
沖縄県	0.17	47
九州・沖縄	1.97	11

※九州・沖縄地区の順位はブロック別の順位

3.業種別では、蒸留酒・混成酒がトップで 100 社を超える

業種別でみると、老舗企業数は蒸留酒・混成酒がトップの 117 社となった。九州は、朝鮮半島や中国大陸に近いこともあり、早くから蒸留技術が伝わったとされている。それにより創業が古い企業が多く出現する結果となった。その他、土木工事 (92 社)・貸事務所 (90 社)・旅館 (82 社) の業種が 80 社を超えた。それ以降は、酒小売 (75 社)・一般病院 (74 社)、清酒製造 (71 社) の業種が 70 社以上となった。

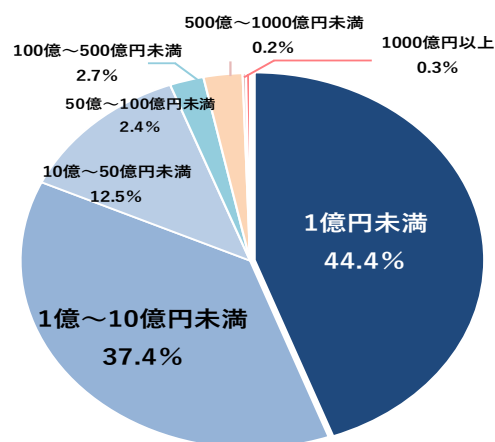


4. 売上高別では 44.4%が「1 億円未満」、 「1000 億円以上」は 1.0%が該当

売上高別でみると、「1 億円未満」が 44.4%と半数近くにのぼった。売上高が判明している老舗企業のうち、多くが小規模事業者であることが明らかとなった。

また、売上高 10 億円以上の割合は、合計で 18.1%にとどまった。一方で、老舗企業のうち「1000 億円以上」の割合は 0.3%と小さいものの、全国にある売上高 1000 億円以上の企業のうち老舗企業が占める割合は 20.8%にのぼり、売上規模の大きさで存在感を示している。

まとめ



九州地域の老舗企業は、3762 社存在することが分かった。地域別では、日本海側の佐賀県や長崎県で老舗企業率が高い一方で、九州南部では老舗企業の割合が低いなど地域によって差があることが判明した。

足元では老舗企業の倒産が増加している。老舗企業には一定のブランド力が見られるものの、固定観念に捉われない攻めの経営が一層求められるだろう。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク福岡支店情報部 担当:丸山 翔大
TEL:092-738-7779 FAX:092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および無断転載を固く禁じます。